

障害や育てにくさがある子どもをもつ ご家庭の居場所

埼玉県所沢市

おもちゃ図書館ぐりーん☆きっず

ぐりーん☆きっずの概要

所沢市の子育て支援関連の会議の中で、『障害のある子どもや育てにくさがある子どもの遊び場がない』という課題を受け、保健センターの事業をフォローする目的で、平成 26 年 9 月にみどり児童館の事業として開設しました。『障害や育てにくさがある子どもをもつご家庭の居場所』として活動しています。

利用の対象は、登録をしている親子のみを受け入れ、活動頻度は、月 1 回、1 時間 30 分の活動です。令和 6 年度の登録数は 18 組で、対象の乳幼児・児童の合計は 21 人でした。利用状況は、毎月 3 組 6 人～13 組 37 人の親子の利用があり、年間の利用総数は 53 組 139 人でした。

児童館で運営しています

児童館は 0 歳～18 歳まで利用できる施設です。児童館で実施することにより、乳幼児期だけでなく世代を超えて利用できます。また、対象児だけでなく兄弟姉妹や保護者など家族のサポートもねらいの 1 つとしています。

遊び場に困っている親子の居場所です

日頃、児童館の乳幼児室などで他の親子に「ごめんなさい。」と謝りながら過ごしている親子、他の子の成長と比べてしまい苦しい思いをしながら過ごしている親子、不安を抱えている親子など困っている親子に、「ここでは何も気にせず遊んでいいよ。」という場を提供しています。

『育てにくい、障害があるお子さん』を対象としていることで、他の人の目を気にせず、安心して利用してもらっています。お子さんだけでなく、お父さんお母さんにとっても居場所となっていることを感じます。

児童館の中で困っている親子へ声掛けを行っていますが、地区担当の保健師さんから「おもちゃ図書館を紹介したい親子がいるのでサポートをお願いします。」と支援要請があるなど、保健センターとの連携も欠かせません。

継続したサポートを行っています

登録制としていることで継続してサポートできていることも大きな特徴です。年度の始めには 1 年のスケジュールを郵送し「いつでも待っているよ。」ということを伝えることで、小学校に進級しても時々顔を見せてくれる親子もいます。昨年のクリスマス会には小学生が 7 人も参加し、大きくなった姿を見せてくれました。保護者の方々もボランティアさんとの会話が弾み、お子さんの成長を喜び合う貴重な時間となりました。

ボランティアさんの継続（課題 1）

ぐりーん☆きっずは開設時、4 人のボランティアさんにご尽力いただいてスタートしました。当時は、事務作業、連絡・とりまとめ、おもちゃの管理、イベントの計画・準備・実施など、ボランティアさんに全てを託していたので負担が大きかったと思います。その皆さん全員が今でも継続して力を貸してくださっていますが、月日が経つにつれて、高齢のために今までの業務はこなせないと感じるボランティアさんの意見がありました。そこで、私たちはおもちゃ図書館の継続を第一に考え、煩雑な事務作業やおもちゃの管理、連絡・とりまとめなどは児童館スタッフが行うこととし、ボランティアさんの仕事を軽減させました。

現在、ボランティアさんには、当日の活動、手作り名札の準備、絵本の整理などを担っていただいています。高齢のために卒業を検討していたボランティアさんも、現在も笑顔で活動に参加してくださっています。これからも活動を継続していくことを第一に、利用親子だけでなくボランティアさんにも「楽しかった」「参加してよかった」と思ってもらえるよう運営していきたいと思っています。

新規ボランティアさんの獲得（課題 2）

ぐりーん☆きっずは、障害や育てにくさがある子どもをもつ親子の居場所としているので、親子に寄り添ってくださる方、個人情報の守秘義務を守れる方にボランティアをお願いしたいと思いながら、該

当する方を探すことが大変難しく、なかなか新規ボランティアさんを迎えることが出来ずにいました。しかし昨年、既に連携があり信頼できる地域の民生委員さんに相談したことで、3 名の方を紹介していただくことができました。現在ボランティアさんは総勢 7 名となり、皆さん、親子のことを温かく迎え、見守ってくださっています。



ボランティアさんたち
によるハンドベル演奏
のプレゼント



● 代表より一言

ぐりーん☆きっずの活動は 11 年目になります。その間、近隣の子育て支援の状況の変化やコロナ禍の影響などもありましたが、継続させることを第一に考えて活動してきました。コロナ禍ではそれまでの会場では親子を迎えることが出来ず、会場を移し、活動の度に大量の玩具を車で運びながらも活動を続けた時期もありました。様々な状況の中、試行錯誤しながらもボランティアさんと共に『困っている親子の居場所となること』という思いはぶれることなく、活動を続け乗り越えてきました。

そんな中で、昨年、大変嬉しい出来事がありました。小学 4 年生になった女兒が「小さい子と遊んであげたい。」と自らボランティアとして参加してくれたのです。「利用者だった保護者の方や成長した子どもたちが、いずれボランティアとして参加してくれたら、、、」という、長年の私たちの夢が叶った年となりました。女兒は、自身の病院通いなどがあるため減参加することはできないのですが、成長した今もおもちゃ図書館のことを覚えてくれていることに感動し、ボランティアさんたちとも喜びを分かち合いました。他の保護者の方からも、「ここがあってよかった。」と言ってもらい、『親子の居場所』として継続して認識してもらえていることを大変嬉しく思います。今後は、利用者同士が繋がりを深めるためのつなぎ役としての役目も担っていききたいと思います。

ご自身の仕事やご家庭のことで忙しい中、惜しみなく力を貸してくださるボランティアの皆さんに恵まれたことが私たちの何よりの財産です。これからも「あってよかった」と言ってもらえる場であり続けられるよう、ボランティアさんと共に温かい活動を続けていきたいと思っています。（久保真里）

場所 埼玉県所沢市緑町 1-8-3 所沢市立みどり児童館

日時 月一回開催 開催日時はお問い合わせください

対象 発達に心配のあるお子さん